

## 令和5年度第1回土木計画学委員会幹事会 議事録

日時：令和5年9月15日（金）18:30-20:00，9月16日（土）9:00-12:00

場所：ハイブリッド開催（東広島芸術文化ホール，Zoom）

### ■ 出席者（敬称略）

委員長：多々納 裕一（京都大学，9月15日のみ）

副委員長：柿本 竜治（熊本大学），山崎 基浩（豊田都市交通研究所）

幹事長：福田 大輔（東京大学）

学術小委員会副委員長：平石 浩之（日本能率協会総合研究所，9月15日のみ）\*

大会運営小委員会委員長：谷本 圭志（鳥取大学，9月15日のみ）\*，同幹事長：瀬木 俊輔（神戸大学，9月15日のみ）\*，同幹事長：大澤 実（京都大学，9月15日のみ）\*

令和5年度秋大会開催校幹事：清水 哲夫（東京都立大学，9月15日のみ）\*

委員兼幹事：浦田 淳司（筑波大学），梶谷 義雄（香川大学，9月15日のみ），神田 佑亮（呉工業高等専門学校），桑野 将司（鳥取大学），鈴木 美緒（東海大学），崔 善鏡（東京工業大学）\*，中野 一慶（電力中央研究所），浅田 拓海（室蘭工業大学），石井 良治（計量計画研究所），井上 亮（東北大学）\*，尾野 薫（宮崎大学）\*，金子 素子（アルメック），樋口 恵一（大同大学，9月16日のみ），山口 裕通（金沢大学，議事録担当）

\*：オンライン参加

### ■ 欠席者（敬称略）

学術小委員会委員長：山本 俊行（名古屋大学），学術小委員会幹事長：呉 玲玲（東京都立大学），大会運営小委員会副委員長：中山 晶一郎（金沢大学）

### ■ 議事（敬称略）

#### 1. 開会

委員長 挨拶（多々納）

- ・多々納委員長から挨拶があった。

参加メンバー 挨拶（全員）

- ・参加メンバー全員より，一言ずつ自己紹介と挨拶があった。

#### 2. 前回議事録確認（福田）

資料2

- ・福田幹事長より，前回議事録【資料2】について説明があった。特に修正の指摘は無かったため，原案どおりの内容で，委員会ホームページにて近日中に公開することとした。
- ・なお，各幹事会（あるいは各委員会）においては，その直近に開催された委員会（あるいは幹事会）の議事録確認を行うことを後日確認した。

### 審議事項

#### 3. 研究委員会規則及び委員会運営細則の変更について（福田・浦田）

資料3, 資料4

- ・福田幹事長より，【資料3】と【資料4】に基づき，土木計画学研究委員会の組織構成と，古いままとなっていた運営規則と実態の齟齬について説明がなされたうえで，規則・規則細則の変更についての原案が示され，議論がされた。
- ・多々納委員長より，常任委員会のメンバーについて，「各小委員会委員長」という表記のように，簡潔に記載するよう提案がなされた。
- ・多々納委員長より，学術小委員会・大会運営小委員会からの常任委員会への参加メンバーについて，この際「副委員長」は含まず「委員長」のみとする提案がなされた。
- ・柿本副委員長より，委員の任期は2年間であることから，大会実行委員会の開催校メンバー（任期：1年）を大会運営小委員会に加入させることによる齟齬について指摘がなされた。議論の結果，これまで通り「オブザーバー」として位置付け，特に新たな加筆はしないこととした。
- ・山崎副委員長より，「常任委員」の標記と定義がループになっていることの指摘があり，より簡潔に記載する方針の提案がなされた。

・福田幹事長より、2023年秋の委員会で改正案を提示しその内容を審議する方針について説明がなされ、事前に各幹事にも意見等があれば個別に連絡を求める旨の依頼があった。

4. 委員長の選出方法について（多々納）

\* 追加資料

・多々納委員長より、

・規則 第5条

・細則 「2. 構成 (2) 委員長」の選出

の内容と委員長決定方法の現状について説明がなされた上で、下記のような細則修正案が示された（赤字部分が現行の細則への追記部分）。

委員長選考委員会（以下、選考委員会）が現委員長任期満了年度の最終委員会までに複数の委員長候補者を選出し、その中から選挙により次期候補者1名を委員会に推薦する。選挙権者は「過去10年間に委員会委員であった土木学会会員」とする。

・福田幹事長より、2023年秋の委員会で審議する可能性が高い議題であり、それまでに各幹事で資料の内容を確認していただき、意見等あれば個別に幹事長に連絡してほしいという旨の依頼があった。

5. 英国土木学会のジャーナル Municipal Engineer との連携の可能性について（福田）

資料5

[16日に実施]

・福田幹事長より、【資料5】について説明があった。

原則は、もし投稿の希望があれば対応する方針として、幹事長預かりで検討をすすめる方針が確認された。

## 報告事項

6. 学術小委員会からの報告（山本、平石）

資料6

・平石学術小委員会副委員長より、【資料6】に基づき、報告がなされた。

・福田幹事長より、旧D3特集号の正式名称は2024年以降は「土木学会論文集・特集号（土木計画学：方法と技術）」へと変わるのではないかと指摘があり、名称・巻号に関する正確な名称について、学術小委員会でも確認するよう依頼があった。

・なお、多々納委員長から、特集号の名称に「方法と技術」をつけなくても良いのではないかと意見もあった。この意見も参考にしつつ、関係メンバー（学術小委員会委員長・通常号の編集小委員会の委員長・幹事長（方法と技術、政策と実践）、福田幹事長・神田幹事（D4担当、昨年度まで）の間で、今後の特集号の正確な名称を改めて確認することとした。

・上記も含めた土木学会論文集の形式変更は大きなものであり、秋の委員会報告やIPメールでも正確な情報を周知することが提案された。

7. 大会運営小委員会及び秋大会開催校からの報告（谷本、中山、瀬木、清水）

資料14

・瀬木大会運営小委員会幹事長より、【資料14】に基づき、発表応募状況とスケジュール案について報告がなされた。

・清水秋大会開催校幹事より、【資料14】に基づき、会場・開催校企画内容などに関する準備状況の報告がなされた。

・福田幹事長より、現在検討中の初日の会場費について、研究委員会の経費から補填しうることの説明があった。

・谷本大会運営小委員会委員長より、2024年度の秋大会は岡山大学で実施することについて報告があった。

8. 調査研究拡充支援金（委員会予算）の配分について（福田・浦田）

資料7

・福田幹事長より、【資料7】について予算執行方針について説明があった。

・各研究小委員会への事前の予算配分については、各研究小委員会によるワンデーセミナー等を含めた予算執行提案を求め、その内容に基づいて配分額を検討する方針とすることになった。

9. 重点研究課題募集について（福田） 資料 8  
・ 福田幹事長より，【資料 8】について説明があった。  
・ 研究小委員会などに対して，福田幹事長から周知・募集をすることとなった。
10. 新型コロナ調査最終回の実施および結果（浦田） 資料 9  
・ 浦田幹事長補佐より，【資料 9】について説明があった。また，本調査について，説明されたもので最終回とする旨についても説明があった。
11. 令和 5 年度後期～令和 6 年度前期の幹事役割分担案について（福田） 資料 10  
[16 日に実施]  
・ 福田幹事長より，【資料 10】について各委員兼幹事の役割分担案の説明があった。
12. 各担当からの報告
- 学会出版企画の募集について（石井） 資料 11  
・ 石井幹事より，現時点までに特に出版の申し出はなかったことが報告された。
  - ワンデーセミナーの企画について（中野） 資料 12  
・ 中野幹事より，【資料 12】について説明があり，申請された企画について承認された。  
・ 多々納委員長より，「内容を踏まえると，「土木計画学シンポジウム」としてより上位の企画としてはどうか」，という提案があり，中野幹事より申請者へ提案することとなった。  
（その後，申請者側から「ワンデイセミナー」とするとの回答があった）
  - HP への過去の受賞者の掲載にむけたリスト化（浦田） 資料 13  
[16 日に実施]  
・ 浦田幹事長補佐より，【資料 13】について説明があった。このリストについては近日中に HP のできれば目立つ部分に掲載し，今後とも表彰に関して委員会で報告する形として，継続的に内容の共有・HP のアップデートができる体制とする方針について報告があった。
  - 年次講演会の研究討論会についての謝金（浦田）  
・ 浦田幹事長補佐と鈴木委員兼幹事から，研究討論会の委員会企画セッションにご登壇いただいた土木学会非会員の方への謝金支払いについて発議がなされ，審議の結果，土木学会全国大会の過去の実績に準じた額の謝金を委員会予算から支払うことで承認された。
13. その他
- ・ 令和 5 年度秋大会期間中の計画学研究委員会について（福田）  
・ 福田幹事長より，計画学初日（2023/11/24）の 13:00-14:30 に，委員会報告会場の近くで会場を探し，実施予定であることが示された。
  - ・ 令和 5 年度第 2 回幹事会（合宿形式を想定）について（福田）  
・ 福田幹事長より，日程調整の上，3 月下旬に開催する方針であることが示された。

以上